

大神埋蔵文化財収蔵施設 (旧東部福祉会館 白寿荘)

再編済み



再編手法	施設の用途転換	
再編内容	高齢者及び障がい者等の福祉の増進と生活の向上を目的としていた東部福祉会館白寿荘から埋蔵文化財の収蔵施設へ、施設の用途を転換した。	
施設概要 (廃止時)	開設	昭和 57 年(1982 年)5 月 15 日
	所在地	平塚市大神 2885 - 3
	規模	鉄筋コンクリート造 3 建て 1,169.14 平方メートル
	その他	平成 29 年(2017 年)3 月 31 日で閉館。 その後、用途転換。
再編に至る 経緯	東部福祉会館白寿荘の機能は、新たに設置された余熱利用施設が担うこととなったため、施設の老朽化が著しかった金目の平塚市埋蔵文化財発掘調査整理事務所分室の機能を移し、建物の有効活用を図った。	
再編で得られた効果	<ul style="list-style-type: none">・最小限の修繕で、空いた建物の利活用を図ることができた。・賃借していた収蔵庫等の中身を一か所にまとめることで、賃借料(約 58 万円/年)の削減を図ることができた。	